

## ITU-R SG5 第 11 回会合報告書（案）

### 1 会議の概要

ITU-R SG5 は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

ITU-R SG5 第 11 回会合は、2016 年 5 月 9 日（月）にスイス国ジュネーブ市の ITU 本部において開催された。

本会議には 31 カ国の主管庁等から 105 名が参加した。日本からは表 1 に示す 11 名が出席した。

議長は M.FENTON 氏（イギリス）であり、副議長は E.H.ABDOURAMANE 氏（カメルーン）、A.AL-AMRI 氏（サウジアラビア）、S.AL-BALOOSHI 氏（ドバイ）、新 博行氏（日本）、L.BUI HA 氏（ベトナム）、A.S.CALINCIUC（ルーマニア）、M.CATTANEO（アルゼンチン）、C.L.COOK 氏（カナダ）、A.KADYAN 氏（インド）、H.MAZAR 氏（フランス）、B.MBAYE 氏（セネガル）、F.I.ONAH 氏（ナイジェリア）、G.OSINGA 氏（オランダ）、B.PATTEN 氏（アメリカ）、V.POSKAKUKHIN 氏（ロシア）、D.SANOU 氏（ブルキナファソ）、W.SAYED 氏（エジプト）、S.SHAVGULIDZE 氏（グルジア）の 18 名である。

今回の会合においては、18 件の寄与文書について審議を行った。

寄与文書一覧は巻末の表 4、勧告文書の採択・承認手続きの手順については、巻末の図 1 のとおり。また、今回は WRC-15 直後の SG5 ということもあり、表 2 及び表 3 に示されているように、新規勧告、研究課題、報告の議論は行われていない。

表1 SG5会合出席者一覧

氏 名	所 属
大村 朋之	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 システム開発係長
阿部 敏和	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 国際係長
大槻 信也	NTT アクセスサービスシステム研究所
小川 博世	（国研）情報通信研究機構テラヘルツ研究センター
小山 敏	（一社）電波産業会 研究開発本部 ITS グループ
高山 泰一	（株）三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 科学技術グループ
山崎 高日子	三菱電機（株） 通信システム事業本部 通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ
宮寺 好男	日本無線（株） 海上機器事業部 企画推進部
新 博行	（株）NTTドコモ 無線アクセス開発部
河合 宣行	KDDI（株）
碓 琢己	（株）NTTドコモ 電波部

表 2 SG5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時 手続		通常の郵便による採択及び承認手続		決議 1-6 第 11 章に 基づく 編集上の 修正が承認された 勧告	通常 の勧 告廃 止承認手 続	解決を 求めるた め RA-19 で 審議		WP への 差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂		廃止	新	改訂	新	改訂
WP5A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TG 5/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	0		0		0				0		0	

表 3 SG5 会合での研究課題、報告の採択・承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ 差戻し	新	改訂	削除
WP5A	0	0	0	0	0	0	0
WP5B	0	0	0	0	0	0	0
WP5C	0	0	0	0	0	0	0
WP5D	0	0	0	0	0	0	0
TG 5/1	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0
	0				0		

## 2 審議の内容

### 2.1 WP5A (IMT を除く陸上移動業務等)関連

#### (1) WP5A における前回会合からの進捗報告

WP5A 議長の J.COSTA 氏からは特段コメントが行われなかった。

### 2.2 WP5B (海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)関連

#### (1) WP5B における前回会合からの進捗報告

WP5B 議長の J.METTROP 氏からは特段コメントが行われなかった。

### 2.3 WP5C(固定業務及び短波帯の固定・移動業務)関連

#### (1) WP5C における前回会合からの進捗報告

前研究会期における WP5C 議長の C.GLASS 氏が不在のため特段コメントが行われなかった。

### 2.4 WP5D (IMT) 関連

#### (1) WP5D における前回会合からの進捗報告

WP5D 議長の S.BLUST 氏から前回会合からの進捗報告が口頭で実施された。2月に中国・北京において開催された WP5D 第1回会合において、既存の審議体制の維持と WRC-19 議題 1.13 に関して審議を行う TG 5/1 の設立が合意されたことが報告された。

#### (2) 勧告

WP5A から、以下の提案があった。

- ① 勧告 ITU-R M.2090「第一地域の 694MHz 以下の既存業務を保護するための 694-790MHz における IMT 移動局の OOB 制限値」に関する検討状況の SG6 議長への周知文書【入力文書:5/271(SG5 議長)】  
RA-15 において既に扱われている内容であることが確認された。

#### (3) その他

- ① 議題 1.13 に関する WP5D の所掌範囲についての作業計画及びその他既に水面下で実施中の活動について、そして、TG 5/1 の ToR にある IMT-2020 のエディトリアルな変更についての周知【入力文書:5/7 (WP5D)】  
WP5D 議長より、TG5/1 へ提供する 24.25-86GHz のパラメータについては、IMT-2020 技術に基づいて提供する予定であり、誤解をしないように使い分けるべきとの見解を示された。詳細は TG5/1 で議論されることとされ、ToR のエディトリアルな修正が必要な場合は、CPM マネージメントチームに通知することも可能である点が確認された。

## 2.6 SG5 のその他全体に関わる事項

### (1) 組織構成について

Head of Delegation のみによる会議が別途実施され、今研究会期の審議体制について議論が行われた。結果として、既存の 4 つの Working Party 及びそれらの所掌を継続することが確認され、WP5A、5B、5D については、前研究会期の議長を継続することが確認された。WP5C については前議長の退任に伴い、中国の推薦により P. NAVA 氏が就任することで合意された。CPM19-1 で SG5 に設立が要請されていた、議題 1.13 を扱う TG5/1 の設立が承認された。また、TG5/1 の議長は C. COOK 氏が務めることで合意された。そして、(TG5/1 の議長候補であった) M. KRAMER 氏 (ドイツ) は TG5/1 の中で CPM テキスト案の作成をリードする役割となった。そして、WP 5D の中で、議題 1.13 に関する TG5/1 との窓口となるラポータをドイツから選任することとし、同ラポータは WP 5D のマネジメントチームの一員とすることが議長より説明され、異論は出されなかった。

### (2) 他の SG からのリエゾン等

1) IRG-AVA (Intersector Rapporteur Group Audiovisual Media Accessibility : ITU-R Study Group 6, ITU-T Study Group 9 及び ITU-T Study Group 16 の合同グループ) とのリエゾン

- ① 無線補聴器、医療機器及び同様なシステムで使用している無線周波数に対する障害について重要な問題が発生している点に関する SG5 及び WP5D への情報提供のリエゾン、SG6、ITU-T SG9 と SG16 にはコピーの提供【入力文書:5/272(IRG-AVA)】  
議長より既に WP5D がレスポンスしている点が言及され、WP5D 議長より、WP5D からの回答が 5/6(WP5D)に用意されている点が言及された。ATDI の意見を元に、本件が、引き続き SG1 で議論が行われる点を確認された。

2) SG1 とのリエゾン

- ① 帯域外の不要発射についての ITU-R 勧告 SM.1541-6 への更新【入力文書:5/275(SG1)】  
ノートされた。

3) SG3 とのリエゾン

- ① 地球・宇宙間の陸上移動通信システムのデザインに必要な伝播データに関する ITU-R 勧告 P.681-8 への更新【入力文書:5/274(SG3)】  
カナダの指摘により、本文書は SG5 ではなく SG4 に送られるべきものである点が言及され、SG4 へ送られた。

4) SG6 とのリエゾン

- ① 470-694/698MHz 帯における、地上デジタルテレビ放送と IMT を含む陸上移動ブロードバンド用途間での共用検討に関する ITU-R 報告 BT.2337 の更新【入力文書:5/273(WP6A)】  
ノートされた。

## 5) SG7 とのリエゾン

- ① 50GHz 以上の周波数の見通し外通信のための伝搬モデルのためのメカニズムに関する質問【入力文書:5/9 (WP7D)】  
ノートされた。

## 6) ITU-T とのリエゾン

- ① ITU のセクタ間調整についての文書【入力文書:5/4 (ITU-T TSAG)】  
文書内の相互参照に関する表を検証することで合意され、各 Working Party で精査し、必要に応じて ITU-T の関連グループと連携をしてほしいと、SG5 議長から述べられた。
- ② ITU-T TSAG からの提出文書【入力文書:5/5 (ITU-T TSAG)】  
文書内の相互参照に関する表を検証することで合意され、各 Working Party で精査し、必要に応じて ITU-T の関連グループと連携をしてほしいと、SG5 議長から述べられた。

## 7) Chairman, Coordination Committee for Vocabulary (CCV) とのリエゾン

- ① CCV から各 SG, WP へ向けた文書【入力文書:5/8 (CCV)】  
今研究会期における CCV のリエゾン・レポートとして、米国が B. PRICE 氏を推薦し、承認された。

## 8) International Association of Marine Aids to Navigation and Lighthouse Authorities (IALA) とのリエゾン

- ① ITU-R 勧告 M.2092-0 についての文書【入力文書:5/10 (IALA)】  
既に前回 RA で議論され、WP5B に送られた内容であることから、議論しないことが合意された。

(3) その他

- ① SG5 に割り当てられた文書【入力文書:5/1(SG5 議長)】  
カナダより Question 242 は 5A にも割り当てが必要との指摘が行われた。ATDI より、(WP5A と 5C が責任を持つ) 勧告 F.1336 の改定審議の進め方についての質問が行われ、WP5A 議長より、(これまでと同じように) WP5A と WP5C での詳細審議が始まる前に Joint Meeting を行い、改訂内容に応じて扱いを審議し、case-by-case で進め方を決定する旨及び進め方についても決定することが提案された。以上の 2 点の提案は承認され、本文書については、オフラインでのコメントも踏まえて、改訂版が作成されることで合意された。
- ② SG4 と SG5 が共同で責任を持つ ITU-R 勧告及び文書の改定手順【入力文書:5/3 (SG4・5 議長)】  
本文書の Table 3-2 における ITU-R 報告 M.1036 の記載の扱いについて議論が紛糾した。各国等の意見は次のとおり。
- ・カナダ、ドイツ、米国、スウェーデン、WP5D 議長：ITU-R 報告 M.1036 を Table から削除
  - ・フランス、ドイツ：ITU-R 報告 M.1036 を共同責任としないことを明記しつつ、Table に保持

- ・中国、ロシア、イラン：現状のまま記載を維持
- その後、オフライン審議を踏まえ、
- ・入力文書:5/3 を Part A (joint responsibility) と Part B (consultation w/SG4) に分割
  - ・ITU-R 報告 M.1036 を含む Table3-2 を Part B に記載
  - ・ITU-R 報告 M.1036 に、地上/衛星の共用問題があり WRC-19 議題 9.1 (issue9.1.1) で研究されることを NOTE (※当該 NOTE は、WRC-19 議題 9.1 (issue9.1.1) の参照先が明確になるように会議後に修正される予定) とすることで合意された。

#### (4) その他

WP5D 議長より、ジュネーブでの会議が集中するとホテル代が高騰することなど困難がある点が言及され、議長よりその点も考慮したスケジューリングが必要である点が確認された。イランより、「複数の会合が同時に進行することが望ましくないが、WP5D のように世界中で開催することは、いくつかの国にとってはビザ取得に時間を要するなど問題がある。一方を立てれば、もう一方が立たないという点を TG 議長は考慮すべきである。」との主張があった。

### 3 今後の予定

2016 年以降のミーティングスケジュールは以下のとおり。

日程	会合名	場所
2016 年 5 月 10 日～20 日	WP 5A, WP 5B, WP 5C	Geneva
2016 年 5 月 23 日～25 日	TG 5/1	Geneva
2016 年 6 月 14 日～22 日	WP 5D	Geneva
2016 年 10 月 4 日～12 日※	WP 5D	Geneva
[2016 年 11 月 7 日～18 日]	WP 5A, WP 5B, WP 5C	[Geneva]
[2016 年 11 月 21 日～22 日]	SG 5	[Geneva]

注：[ ]は未定であることを示す。

※ 第 24 回 WP5D 会合において、ITU 事務局から日程を 1 日繰り下げる (5 日～13 日) ことがアナウンスされた。

表 4 SG5 入力文書一覧

文書番号	提出元	タイトル
R12-270	Chairman, SG 5	Summary Record of the meeting of Study Group 5 (Geneva, 20 - 21 July 2015)
R12-271	Chairman, SG 5	Note to Chairman of Study Group 6 - On draft new Recommendation ITU-R M.[BSMS700] - Specific out-of-band emission limit of IMT mobile stations operating in the frequency band 694-790 MHz for protection of existing services in Region 1 in the frequency band below 694 MHz
R12-272	IRG-AVA	Liaison statement to ITU-R SG 5 and 5D (Copy for information to ITU-R SG 6 and ITU-T SG 9 and SG 16)
R12-273	SG 6	Liaison statement to Study Group 5 and Working Party 5D - Revisions to Report ITU-R BT.2337 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz
R12-274	SG 3	Recommendation ITU-R P.681-8 - Propagation data required for the design of Earth-space land mobile telecommunication systems
R12-275	SG 1	Recommendation ITU-R SM.1541-6 - Unwanted emissions in the out-of-band domain
1	Chairman, SG 5	Assignment of texts to the Study Group 5 Sub-Groups
2	SG 5	Documents to be carried over from the 2012-2015 study period
3	Chairmen, SGs 4 and 5	Future updating of the Recommendations and other ITU-R texts under joint responsibility of Study Groups 4 and 5
4	ITU-T TSAG	Liaison statement on ITU inter-Sector coordination [to ISCT, TDAG, ITU-D SGs, RAG, ITU-R SGs, ITU-T SGs]
5	ITU-T TSAG	Liaison statement on deliverables of ITU-T Focus Group AC (Focus Group on Aviation applications of cloud computing for flight data monitoring)
6	WP 5D	Reply liaison statement to IRG-AVA (copy for information to ITU-R Working Parties 1B, 5A, 6A, Study Group 5, ITU-T Study Groups 9 and 16) - Barriers to wireless connections for hearing aids and medical devices
7	WP 5D	Note to Study Group 5 - WP 5D work on agenda item 1.13
8	Chairman, CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties
9	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 3K and 3M (for action) and Study Group 5 and Working Parties 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A and 7C (for information)
10	International Association of Marine Aids to Navigation and Lighthouse Authorities	Liaison Note to ITU-R Study Group 5 and Working Party 5B - Regarding the Recommendation ITU-R M.2092-0
11	Canada	Corrections to Document 5/3
12	Chairman, SG 5	Summary of results of the RA-15 and CPM19-1

図1 勧告文書の承認プロセス

